

National

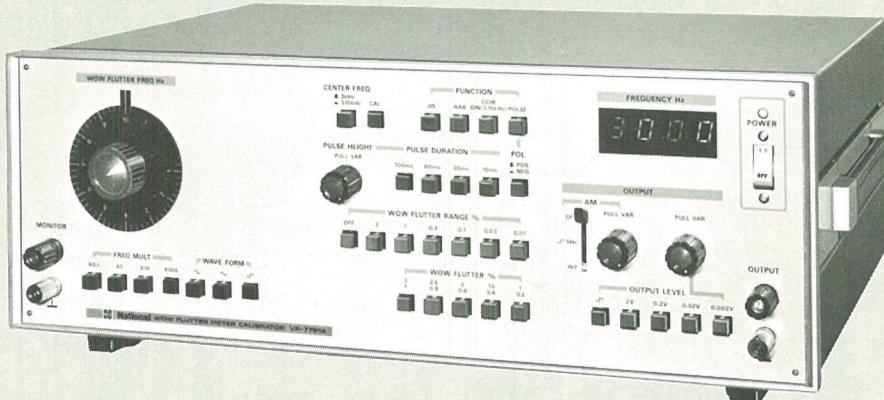
各種国際規格と国家規格に準拠

ワウ・フラッタメータ校正器

VP-7791A

■ 中心周波数 3kHz、3.15kHz
(0.002%~3%)

- シンセサイザ方式を採用
- FM/AM同時変調可能
- パルス応答試験可能
- メータ直線性校正機能付



○ 特長

1. 各種国際規格と国家規格に準拠

本器はワウ・フラッタメータ(回転ムラ計)を校正するための標準ワウ・フラッタ信号を発生する装置で、JIS、NAB、CCIR、DIN、ANSI、IEC等の各種規格に準拠した校正信号をとり出すことができます。中心周波数は、3kHzと3.15kHzが選択できます。

2. シンセサイザ方式を採用

シンセサイザ方式の採用により、周波数変調の確度、安定度、S/Nが向上。どのレンジにおいても正確なワウ・フラッタ信号が得られるとともに、1%のレンジと同等のS/Nの0.01%校正值が得られます。

3. FM・AM同時変調可能

5Hz方形波による30%振幅変調機能および内部可変周波数発振器による振幅変調機能を内蔵。FM/AM同時変調波が得られ、ワウ・フラッタメータのAM除去性能の確認ができます。

4. パルス応答試験機能

CCIR、DIN、IEC、ANSI規格に準拠したパルス応答試験機能を内蔵。3kHzあるいは3.15kHzに、水晶制御による正確なパルス幅を持った周波数変調をかけることができ、ワウ・フラッタメータの正確な応答特性試験ができます。

5. 水晶制御による高安定度、低ドリフト設計

中心周波数は水晶発振の分周で得られますので、高安定度、低ドリフトを維持します。また、0.03%、0.01%と小さなレンジ程、中心周波数の偏差が少なくなるように設計されています。

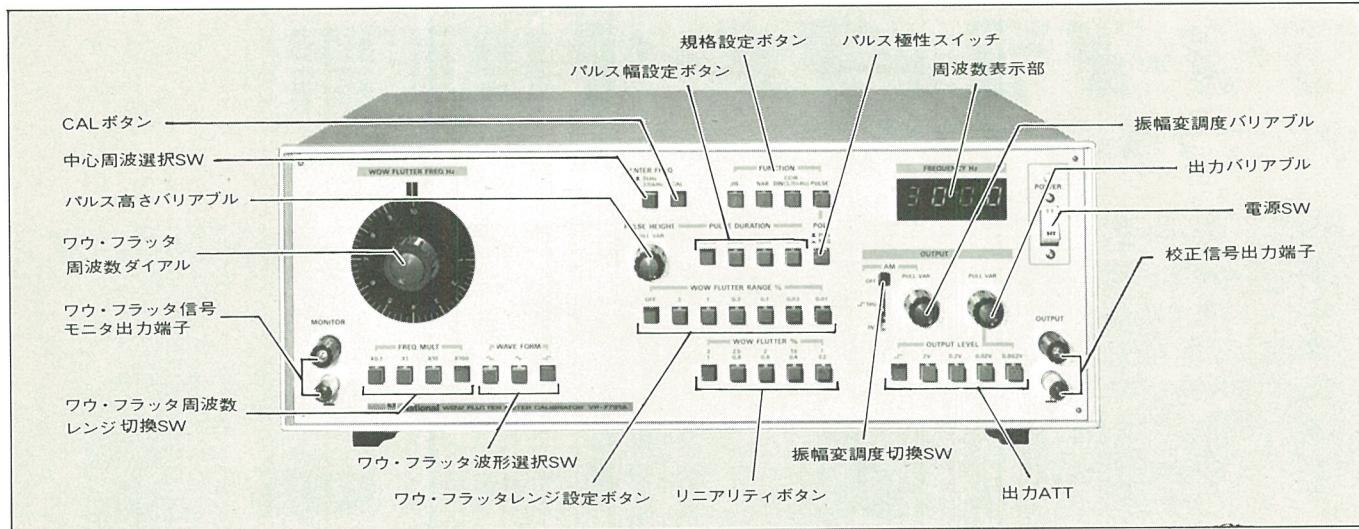
6. 直線性確認機能

ワウ・フラッタメータの各レンジの5点を校正でき、直線性の確認ができます。



Electronic
Measuring
Instruments

■VP-7791Aの各部の名称



■仕様

中心周波数: 3kHz、3.15kHz

周波数偏移量: 3、1、0.3、0.1、0.03、0.01%

(3-0.3-0.03%、1-0.1-0.01%関係はシンセサイザ方式。3-1関係はATT方式で直線性校正用レンジ)

出力インピーダンス: 600Ω ±20%

出力電圧: 2Vrms~2mVrms

(正弦波開放端、4レンジ、パリアブル付)

AM変調: 5Hz方形波で変調度30%固定(パリアブル可能)但し、AM・FM同時変調可能

パルス発生部

パルス幅: 10、30、60、100ms(4レンジとも水晶制御)

繰り返し周期: 1s(水晶制御)

パルス極性: POS/NEG

変調信号発生部

周波数範囲: 0.1Hz~1kHz(4レンジ)

周波数特性: ±0.1dB以内

周波数誤差: フルスケールの±3%以内

出力波形: 方形波、三角波、正弦波

カウンタ部

ゲート時間: 0.5s

表 示: CALのときは126kHz±Δf、

その他のときは6kHz±Δfを0.5秒のゲートで測定し表示する

基準周波数誤差: ±5×10⁻⁵

電 源: 100、115、200、230V

50~60Hz、約20VA

大きさ・重さ: 幅430×高さ150×奥行き350mm
約10kg

●新回路方式で測定精度が向上

	ワウ・フラッタメータ VP-7750A ●ADC回路方式(特許出願中)と自己校正機能(特許出願中)により測定精度と信頼性が向上●各種国際規格と国家規格に準拠●測定範囲0.003%~3%(5レンジ)●データ出力端子付●W・D・H 208×300×148mm●重量約4kg		ワウ・フラッタメータ VP-7791A ●ADC回路方式(特許出願中)により測定精度が向上●各種国際規格と国家規格に準拠●ドリフトの偏移量はメータ(パーセント表示)で直読●測定範囲0.003%~10%、6レンジ●データ出力端子付●W・D・H 208×300×150mm●重量約4kg
--	--	--	---

●本カタログ記載の仕様、デザイン、寸法等は規格改善のため予告なく変更させていただくことがあります。

●お問い合わせは……

松下電器産業株式会社



松下通信工業株式会社 電子計測事業部
〒223 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
電話 (045) 531-1231(大代表)

※このカタログの記載内容は1979年9月現在のものです。